

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 26 年 4 月 1 日（火）ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備 考
6499 1 (5G121)	抗 ARS 抗体	血清 0.3	↓ X	冷蔵 (28 日)	2~8	190 ※5	ELISA	25.0 未満 陰性	不活化（非働化）検 体では、データ影響 を及ぼす場合があ りますので避けて ください。

● 抗 ARS 抗体

多発性筋炎・皮膚筋炎に特異的な自己抗体「抗 ARS 抗体」の測定を開始いたします。

多発性筋炎・皮膚筋炎（Polymyositis/Dermatomyositis：PM/DM）は、骨格筋を障害する自己免疫性の炎症性筋疾患です。小児から高齢者まで幅広い年齢層で発症し、症状は多彩で個人差があります。

PM/DM では、多様な特異的自己抗体が出現しますが、そのなかで最も高頻度に見られるのがアミノアシル tRNA 合成酵素（Aminoacyl-tRNA Synthetase：ARS）に対する抗 ARS 抗体です。

抗 ARS 抗体には、抗 Jo-1 抗体をはじめとした数種類の自己抗体が同定されており、これらが陽性の患者では、共通した臨床的特徴がみられ、「抗 ARS 抗体症候群」を呈します。その特徴に、極めて高い確率で間質性肺炎を併発し、治療反応性はステロイドが奏効するが再燃しやすいことが知られています。

本検査は、既存の抗 Jo-1 抗体を含む、5種類の抗 ARS 抗体を一括して検出いたします。抗 ARS 抗体の検出は、PM/DM の診断、治療法の選択、予後の予測に期待されています。

▼対象疾患

- 多発性筋炎（Polymyositis：PM）
- 皮膚筋炎（Dermatomyositis：DM）
- 間質性肺炎（Interstitial Pneumonia：IP）

▼関連項目

- 抗 Jo-1 抗体
- 抗核抗体（ANA）
- KL-6
- 肺サーファクタントプロテイン D（SP-D）

▼検査要項

検査項目名	抗 ARS 抗体
項目コード No.	6499 1
検体量	血清 0.3 mL
容器	X（ポリスピッツ）
保存方法	冷蔵保存してください。
保存安定性	28日
所要日数	2～8 日
検査方法	ELISA
基準値（単位）	25.0 未満 陰性
実施料	190 点（「D014」自己抗体検査の 16）
判断料	144 点（免疫学的検査判断料）
備考	不活化（非働化）検体では、データ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。

▼保険算定上の条件

保険適応	<ul style="list-style-type: none"> ・本検査と抗 Jo-1 抗体定性、抗 Jo-1 抗体半定量又は抗 Jo-1 抗体定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。 ・本検査と「9」から「12」までに掲げる検査を 2 項目又は 3 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ 320 点又は 490 点を算定する。ただし、本検査と抗 Jo-1 抗体定性、抗 Jo-1 抗体半定量又は抗 Jo-1 抗体定量を併せて実施した場合は 1 項目として数える。
------	--

●参考文献

山田 祐介, 他：リウマチ科 45（2）：133～138, 2011.（検査方法参考文献）
Ran Nakashima, et al：PLOS ONE 9（1）e85062：1～7, 2014.